



[ペタンク大会2017ねんりんピック](#)



[ペタンク大会2017](#)

5月14日雨天予備日に変更されたペタンク大会は天気にも恵まれ、伊豆の国市韮山運動公園多目的の広場で行われました。

前日の雨によるグラウンド状態が心配されましたが、開催地区スタッフのご努力により、良いグラウンド状態となっていました。静岡県ペタンク・ボール連盟の中村博会長より、開催の挨拶が行われました(写真左)。

参加者は第28回すこやか長寿ペタンク大会「予選の部」34チームと「交流の部」37チームで200名を超えました(写真右)。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

政令指定都市から交流の部に浜松丸美会と静岡清水区から参加、チーム代表が中村会長から紹介されました(写真左)。続いて、準備体操がしっかり行われた(写真右)後に、ホイッスルの合図でペタンク競技が一斉にスタートしました。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

本ペタンク大会は3人が一組になり、一人2個を投げて、ビュットに近いボール数だけポイントになります。ビュットに近づけるポウンテの投球方法をする本格的な選手(写真左)。ビュットにどちらのチームのボールが近い計測する選手(写真右)。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

ピタリとビュットに寄せたボール(写真左)。しかし、まだ相手方のボールが残っているとティール(撃つの意味)でボールとビュットが弾き飛ばされるかも知れません。一発逆転がある競技です。そこが、ペタンクの面白いところだと言われています。

お洒落なものを発見しました。何ですかと聞いたら、各メーヌ(セット)の得点を知りながらゲームを行っているとの事でした(写真右)。手作りだそうです。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

ペタンクは激しいスポーツではありません。西村正雄さん(96才・写真左)はペタンク歴30年以上だと言います。腰は真っ直ぐで、はっきり言って若いです。ゲーム中も立っています。これが健康の秘訣だと言います。ねんりんピック県代表の経験もあると言っておられました。

写真右の小林てる子さん(86才)、二人とも富士市の富士鷹クラブの選手です。参加は交流の部ではありません。予選の部です、お元気ですよ。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

交流の部もしっかりペタンクを通じて仲間ができています。浜松市と静岡清水区の皆さんです(写真左)。予選リーグが終わって、お弁当を食べている時に浜松丸美会の皆さんの記念写真を撮らせていただきました(写真右)。遠路ご苦労様です。



[ペタンク大会2017](#)

ペタンク競技は午前中に予選リーグを行い、午後にトーナメントを行います。昼休みは交流時間です。西村さんと小林さんのいるチームの皆さん(写真左)。御殿場市でペタンクを長い事教えているミッシェルご夫妻のチーム(写真右)。



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

お弁当を食べながら、ペタンクの話や世間話に花を咲かせるのも楽しい事ですね(写真左右)。これぞ、ふれあい、社会参加の魅力ですね。

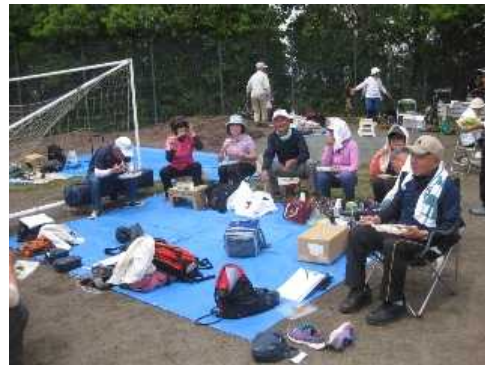


[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

お弁当を食べながら(写真左右)、午後の戦略を立てているのか？世間話をしているのか？分かりません。腹ごしらえして、午後のゲームに臨みます！



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)



[ペタンク大会2017](#)

決勝は見応えのあるゲームでした。優勝は伊豆の国市原木土屋武生、きみ江さん夫婦と宮口赫子さんのチームでした(写真左)。準優勝は函南町田代光明、内田万枝、大塚美枝子さんのチームでした。県代表になったチームは秋田大会での活躍を期待しております。トーナメントに出場できなかったチームは昼食後ふれあいリーグ戦を行い、一日ペタンクを楽しんだ事と思います。主催した役員、関係者の皆さん、救護のボランティアの皆さんご苦労様でした。そしてお疲れ様でした。

取材：東部・田方地区生きがい特派員      加藤    孝